

2021年10月15日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則  
(JASDAQ・コード番号2498)  
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦  
TEL 03-6311-6641

**株式会社オリエンタルコンサルタンツ**  
**風水害から住民の皆様の命を守るための防災行政の支援**  
**～防災 DX による災害時の防災行政マネジメントの検証～**

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、令和3年9月1日から防災DXの一環として、「防災行政マネジメントシステム」を東京都八丈町（山下奉也町長）に導入し、八丈町の防災行政の支援を行うとともに、同システムを活用して、令和3年9月30日から10月1日にかけて八丈町を襲来した台風第16号に対する防災行政マネジメントの検証を行いました。

令和3年5月に改正された災害対策基本法では、「避難勧告」と「避難指示（緊急）」が「避難指示」として情報が一本化され、町から警戒レベル4「避難指示」が発令された場合は、住民の皆さんは危険な場所から避難所等へ避難することになります。避難所では、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、検温や体調不良者の管理、3密防止等のマネジメントの多様化・高度化が求められています。また、避難所の状況の情報管理に加えて、災害発生等の情報収集、共有も並行して行わなければなりません。防災行政を担う職員数が限られている中、「災害対策本部と避難所や現場との情報の収集・伝達におけるタイムラグの解消」、「災害対策本部での情報の集約・一元管理の効率化」が災害時のマネジメントの課題です。

以上を背景に、同社は、社会実験として「防災行政マネジメントシステム」を導入し、以下に示す防災行政マネジメントの支援を行うとともに、八丈町と協働して同システムを活用した防災行政マネジメントの検証を行いました。

◆「防災行政マネジメントシステム」の導入と防災行政マネジメントの支援

- ①避難所の開設状況、混雑状況、備蓄品の在庫状況、災害現場の状況等の対策本部への報告・共有（文字＋写真＋位置情報）
- ②各避難所や災害現場からの報告に基づく対策本部による全体把握・対策指示支援、国や都道府県への報告
- ③チャット機能を使ったグループ内のコミュニケーション

◆台風第16号に対する防災行政マネジメントの支援・検証

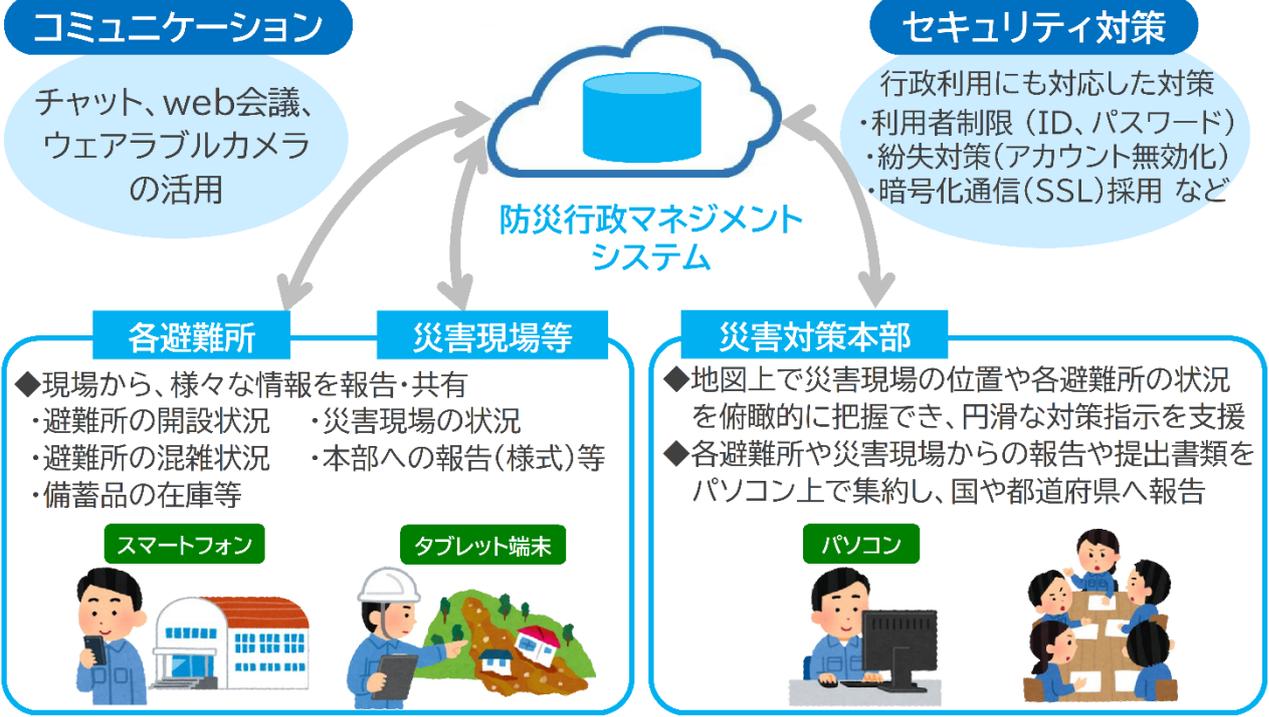
- ①台風第16号が八丈町に接近する前日の9月29日から台風が通過した翌日の10月2日まで、同社の職員4名を八丈町役場と避難所に派遣し、防災行政マネジメントを支援
- ②同システムやweb会議、ウェアラブルカメラを活用し、防災行政マネジメントを検証

今後、同社は、今回の災害対応の検証で得られた知見を踏まえて、防災行政マネジメントに対してDX技術を活用した支援を展開してまいります。さらに、住民の皆様の安全・安心、地域の強靱化の実現に向けて、取り組んでまいります。

以 上

<本資料に関するお問い合わせ先>  
株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011  
[URL:https://www.oriconsul.com/](https://www.oriconsul.com/)  
統括本部 宮内、丸山

# 防災行政マネジメントシステムと台風第16号における災害支援



防災行政マネジメントシステムの概要

早期注意情報発表 2021/9/29     
 大雨注意報発表 2021/9/30 10:50頃     
 高齢者等避難を発令 2021/9/30 16:00頃     
 気象警報発表 2021/9/30 21:00頃

災害支援の様子

避難所における運営補助

災害対策本部の支援職員と  
同社社内との情報共有

災害対策本部内における  
支援職員による情報収集・提供

システムの活用

台風直撃に備えた  
システムの動作確認

避難所の満空状況様子

各避難所の担当職員からのチャットによる被害状況報告

台風第16号における災害支援について